

# 戦争遺跡 と慰霊碑

平和のリング (田無町)



田無駅北口は1945(昭和20)年4月12日の空襲で50名以上が亡くなった場所。田無駅前再開発を契機に新たに建立された。

被爆した柿の木  
(田無町)



橋場の並木建材店の片隅に、被爆し、木の幹が焼けたままの小さな柿の木がある。これは1945(昭和20)年4月2日の空襲で焼けたもので、この地域では多数の犠牲者があった。

ほうじゅいん ろくたいじぞうぼさつりつぞう  
宝樹院と六体地蔵菩薩立像 (泉町)



1945(昭和20)年4月の空襲で周辺一帯が被爆、六体地蔵菩薩立像もバラバラになった。

ほうこういん ばくしゃくよう じぞうぼさつりつぞう  
宝晃院と爆死者供養地蔵菩薩立像  
(住吉町)



1945(昭和20)年4月12日の空襲で亡くなった後藤中尉の親戚5名への慰霊碑が同寺の墓所にある。

じぞうぼさつりつぞう  
地蔵菩薩立像  
(東伏見)



爆弾で2つに割れたお地蔵さん。すぐ近くのNTT保谷寮は、中島飛行機武蔵野製作所初代所長・佐久間一郎邸の跡地。

そうじ せんさいしゃいれいとう  
総持寺と戦災者慰霊塔 (田無町)



総持寺は空襲犠牲者のご遺体が運ばれた場所。鐘楼(堂)は家族を亡くした加藤親子が寄贈。山門にある慰霊塔は「平和観音」と呼ばれている。

引き込み線用のガード (南町)



青梅街道「田無ガード」東の西武新宿線下にある小さなガード。中島飛行機武蔵製作所から谷戸にあった中島航空金属田無製造所(現・住友重機会工業(株)田無製造所など)に向かう引き込み線のガード。

しょうめんこんごうこうしんぞう  
青面金剛庚申像 (泉町)



1945(昭和20)年4月2日の空襲で傷つき、一部の腕が欠損した。

しじゅうから 第二公園 (柳沢)



1945(昭和20)年7月29日に重さ4.5トンの原爆模擬爆弾1発が落とされ、農作業中の3名の女性が死亡。米軍は全国約50ヶ所でこうした訓練を実施。



交通安全地蔵  
(芝久保町)

1945(昭和20)年4月2日の空襲で頭部が行方不明となった橋場の地蔵菩薩立像。戦後、頭部を再建したところ交通事故が減少してこの名になった。

すみともじゅうきかいこうぎょう たなしせいぞうじょ  
住友重機械工業(株)田無製造所 (谷戸町)



1939(昭和14)年頃、中島飛行機の鑄造・鍛造工場として谷戸に開設。正門は当時のまま。また、田無病院は同工場の診療所だった。

さんげおとめ ひ  
散華乙女の碑 (新町)



武蔵野大学キャンパスにある。1944(昭和19)年12月3日の中島飛行機武蔵製作所への第2回空襲で、防空壕に逃げた女学生4名が死亡、1978(昭和53)年慰霊碑が建立された。

によいりんじ わらくじぞうぼさつりつぞう  
如意輪寺と和楽地蔵菩薩立像 (泉町)



檀家の戦没者の慰霊のため、1963(昭和38)年に建立されたお地蔵さんと「戦没者詩碑」がある。

ひがしふしみいなりじんじゃ  
東伏見稻荷神社 (東伏見)



戦前は中島飛行機社員の修練(研修)のために使用。境内には中島飛行機の名が見える旗の掲揚塔、中島飛行機従業員の慰霊碑と名前を記したレリーフがある。なお、この慰霊碑は、1964(昭和39)年に武蔵野市の福祉会館建設のため、ここに移設された。